

課題名

「悪性リンパ腫に対する DA-EPOCH-R 療法における
連日 GCSF とペグフィルグラスチムの比較」について

○ 研究の目的

実臨床においてペグフィルグラスチムの使用時における発熱性好中球減少の発現率の現状について GCSF 製剤と比較してまとめている報告は少なく、今回それらを把握することは、ペグフィルグラスチムの適正使用につながると考えます。今回、広島大学病院において、DA-EPOCH-R 療法に対してペグフィルグラスチムと GCSF 製剤で好中球減少の発現時期、持続期間、副作用との関連について調査分析することで、適正使用について検討できると考え、この研究を計画しました。

○ 研究の方法

平成 24 年 1 月から平成 29 年 3 月に、広島大学病院の血液内科で dose adjust(DA)-EPOCH-R 療法を施行され、ペグフィルグラスチムか GCSF 製剤が発熱性好中球減少発症の 1 次予防として使用された患者。本研究は全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は患者基本情報、血液検査データ（肝機能 腎機能 電解質等）、治療内容です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

本研究は広島大学病院のみで実施します。

（研究期間 承認後～平成 32 年 12 月 31 日）

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 tel:082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 片岡 達夫（研究担当者）